

## 江戸時代から復活した品川蕪

品川蕪は、文化元年（1804年）、農事などについて編纂させた博物誌『形成図説』に描かれ、品川宿を代表する野菜だったと推測されます。江戸開府以前から品川は存在していますが、品川蕪の品川への入植経路は諸説あり定かではありません。

春を迎える保存野菜の品川蕪（長かぶ）は、献上野菜として、また多くが漬物にされていたと言われ、江戸の町民にも喜ばれていたことでしょう。

江戸時代には少しずつ消えていった野菜の一つで、昭和初期頃までは少々ながら存在していたようですが、戦前には完全に消えてしまいました。

近年の江戸野菜復活の動きに伴い、2006年より品川蕪の痕跡を探し始め、2年後の2008年、見事品川に復活をもたらしました。現在では農地を全て無くした品川区ではありますが、地元小学校とともに食育活動の一環として、現在「品川区内に農地」を合言葉に児童たちと小さな校内の畑やプランターを使い品川蕪の栽培を続けています。



東海道品川宿なすびの花  
代表 大塚 好雄



平成二十九年十二月二十三日（土・祝）

# 第六回品川蕪品評会 in 品川神社



# 品川蕪品評会の道のり

## 品川蕪の収穫を祝おう！

2006年、品川蕪をはじめとした江戸東京野菜復活の声を聞き、復興への活動に参加して早11年。品川伝統野菜復活に尽力し、品川蕪食育活動も丸10年目となります。

地元小中学校や保育園、幼稚園、児童センター、区民農園などに種子を配布し、生育指導などを行ってきた品川蕪普及活動も、現在では区内30以上の小学校が参加し、暮れの風物詩となった品川蕪品評会は今年で第6回を数えます。おかげで品川蕪もすっかり定着し、地元商店とともに商品化を進め、多くの方が食する機会も増えています。

これも関係者みなさま方のおかげと、この場を借りて感謝申し上げます。

来たる平成30年1月14日（日）、大崎図書館にて「江戸伝統品川野菜」について語ります（要事前申込）。是非ともお越しください。

詳細は品川区立図書館HPにて  
<https://library.city.shinagawa.tokyo.jp/>



# 式次第

平成二十九年十二月二十三日(土・祝)

- 1 品川神社様よりお祓い (全員参加) 9時50分
- 2 開会式 司会 柿沢美樹さん 10時
- 3 主催者挨拶  
東海道品川宿なすびの花代表 大塚好雄氏
- 4 来賓挨拶  
品川区副区長 桑村正敏氏  
江戸伝統野菜研究会 大竹道茂氏  
東京シテイ青果株式会社 藤田専務  
品川区第一地域連合町会長 金子正秀氏
- 来賓紹介 (および一言)
- 5 参加学校各プレゼンテーション 11時
- 6 審査開始 (当日、主催者側の指名による審査員10名)
- 7 江戸野菜を食する (すべて無料)
- 8 演奏 (江戸の風流を聴く)
- 9 審査発表・表彰式 12時
- 10 記念写真 (各受賞団体) 12時30分
- 11 閉会 東品川一・三町会 戸川五郎氏
- 12 江戸野菜参加児童におみやげ持って行ってね。

